

様式第2

特定施設使用届出書

年 月 日

ひたちなか市長 大谷明殿

届出者 (氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

騒音規制法第7条第1項の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号			
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日		
工場又は事業場の事業内容		※ 施設番号			
常時使用する従業員数		※ 審査結果			
△騒音の防止の方法	別紙のとおり。	※ 備考			
特定施設の種類の種類	型式	公称能力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第1に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 騒音の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別 紙

騒音防止の方法

基礎	基盤設備		
	防振ゴム		
	その他		
機械構造	消音設備 (その他)		
建築構造	壁体 (内外 壁)		
	開口部		
	屋根 (天井)		
	塀		
	その他		
使用期間	月～ 月, 日/月, 時～ 時		
工事着手予定日	年 月 日	使用開始予定日	年 月 日
用途地域			
特定の騒音防止の方法がない場合その理由, 及び将来計画を記入			